

関西大学

東西学術研究所紀要

9

-
- 天武紀・持統紀の文章と用語……………横田健一（1）
——日本書紀成立研究への一試論——
- 『新しき村』への道……………飯塚 朗（11）
——周作人の足跡をたどって——
- 初期大乘經典に於ける縁起説(一)……………丹治昭義（31）
- 營造法式における左官工事の一考察……………山田幸一（49）
- 資料翻訳
雑誌『新青年』……………鳥井克之訳（56）
-

昭和五十二年三月

関西大学東西学術研究所

編集後記

▽：『紀要』第九号をお届けいたします。本号も前号に引きつづき鳥井研究員をわずらわして編集のお世話を願っていたのでありますが、二月中旬に至り同研究員の友好訪中（二週間）がにわかにか決まり、月末には旅立たれるというあわただしい事態が発生し、一方本号のゲラ校正も三校を終え、すでに「責了」の段階に達していたこともあって、発行間際のいま、勞せずしてわたくしが本号の締めくくりをすることになりました。

▽：本号の発行は、研究員任期の初年度に当っており、しかも今期は研究所長が更迭されたばかりでなく、研究員にも一部異動がありました。また新たに委嘱研究員の増員があるなど、研究体制の充実が行なわれました。ここにその陣容と研究テーマを紹介いたします。

一、日中文化交流の研究

日中文化交流の研究

律令法に及ぼした中国法の影響の研究

中世文学に与えた中国文献の影響の研究

16～18世紀における日本・朝鮮・中国間の交渉の研究

『新青年』の専門用語

日中文化交流（近世の日本と中国）

東西神秘主義の研究

インド仏教と神秘主義

西洋文学と神秘主義

横田健一

奥村郁三

岡見正雄

中村幸彦

壺井義正

大庭久脩

水田紀久

山岡泰造

柴田澄一

泉田澄一

飯塚朗

芝田稔

鳥井克之

増田涉

丹治昭義

東治昭義

安川專一郎

建築構造の風土的的研究

アラブ文献にあらわれた中国の研究

『諸蕃志』の研究及び訳注

『インドの驚異』Ajib al-Hind の研究及び訳注

藤本勝次

藤原信義

福原信義

末尾至行

藤善真澄

名取栄史

前原昌仁

山田幸一

藤本勝次

藤善真澄

末尾至行

藤原信義

福原信義

藤本勝次

藤善真澄

末尾至行

藤原信義

福原信義

藤本勝次

藤善真澄

末尾至行

藤原信義

福原信義

藤本勝次

藤善真澄

末尾至行

藤原信義

福原信義

藤本勝次

藤善真澄

末尾至行

藤原信義

福原信義

藤本勝次

▽：本号には横田、飯塚、丹治、山田、鳥井の五研究員が執筆いたしました。もともと本号は五一年三月に発行される予定でありましたが、結局約一年遅れることになりました。早々に脱稿していただいた方にはご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。次号からは少しでも遅れを取りもどして、正規の軌道に乗せる所存であります。五二年二月二八日（芝田記）

昭和五十二年三月三十一日発行

大阪府吹田市千里山

関西大学東西学術研究所

編集者

代表 藤本勝次

京都市下京区中堂寺鍵田町二

印刷者

株式会社 印刷 同朋舎

代表 今田達

大阪府吹田市千里山

発行 関西大学東西学術研究所

BULLETIN OF THE INSTITUTE OF ORIENTAL
AND
OCCIDENTAL STUDIES, KANSAI UNIVERSITY

No. 9

MARCH 1977

CONTENTS

- Observations on the Phraseology of “Temmuki” and “Jitōki”
—An essay on the formation of the *Nihonshoki*— K. Yokota (1)
- Chou Tso-Jen’s Visit to the “New Village” A. Iizuka (11)
- The Pratītyasamutpāda Theory in the *Aṣṭasahasrikā*
Prajñāpāramitā-sūtra (I) T. Tanji (31)
- A study of Plastering Described in the *Yin Tsao Fa Shin*—
the Classical Chinese Book of Architectural Technique
. K. Yamada (49)
- On the Chinese Journal *The Youth*
. Translation with Notes by K. Torii (65)
-

EDITED BY
THE INSTITUTE OF ORIENTAL AND
OCCIDENTAL STUDIES
KANSAI UNIVERSITY, OSAKA